

女子中学生のための女子学生による講座

(切り粉ストラップの製作)



講座概要

平成28年8月8日(月)、本校機械工学科ゼミナール室およびものづくりセンターにおいて、機械工学科教授兼重明宏、准教授上木諭、ものづくりセンター近藤さくら技術職員及び機械工学科女子学生9名による公開講座「女子中学生のための女子学生による講座(切り粉ストラップの製作)」を開催しました。

本講座は、受講生を女子中学生のみとし、講師も本校機械工学科女子学生とする、とてもユニークな講座です。ものづくりの楽しさを体感するために女子中学生にもわかりやすいよう本年度はストラップを製作することとしました。本講座は一昨年度から実施しているもので、昨年度のLEDランプシェード製作講座を引き継ぎ、少し機械工学の分野に近くなるものとなるよう、工作機械を触ってもらい、金属を削ってでる切粉を利用したストラップ製作としました。講座でつくるストラップ、講座内容もすべて女子学生のアイデアと手作りで行いました。女子中学生限定としたため、受講者数が気懸かりでしたが、11名女子中学生が仲良くものづくり体験ができ、無事に終了することができました。

講座の様子

午前中は、工作機械の説明、安全上の注意などをした後、作業帽、作業服に着替え、ものづくりセンターで、旋盤、ボール盤、CNCフライスの3つの工作機械を使い、丸棒の端面を旋盤で切削、また、ボール盤で穴開け、CNCフライスで座ぐり穴を開ける作業を、本校女子学生の指導のもと行いました。回転する工作機械を扱うのは少し「怖い」ということもありましたが、受講者全員、作業を終えることができました。その後、講師学生と受講生とで、高専での学生生活など歓談を交え昼食をとりました。

午後は、作成したストラップの台座に、思い思いに切り粉などを配置し、その上から硬化性樹脂を塗り、オリジナルストラップを完成させることができました。どの受講生も特徴あるストラップを作ることができました。

まとめ

本講座は、受講生を女子中学生とし、また、講師も本校機械工学科の女子学生と限定することで、女子中学生には、男子ばかりの高専というイメージではなく、女性も技術者になるために勉強し、社会で活躍できることが身近に感じて貰える講座になったと思います。また、本校の女子学生にとっても講座の企画と運営を自分たちで行うことで、いろんな勉強ができたと思います。今後も同様の講座を引き続き開催する予定です。



工作機械の操作風景